

# トルコ -2年10カ月ぶりに政策金利を引き上げ-

## <主要政策金利を0.50%引き上げ>

トルコ中央銀行は、11月24日の金融政策決定会合において、2014年1月以来、2年10カ月ぶりに政策金利を引き上げることを決定しました。主要政策金利である1週間物レポレート<sup>1</sup>を0.50%引き上げ8.0%にするとともに、上限金利の翌日物貸出金利を8.25%から8.5%へ引き上げました。下限金利の翌日物借入金利は7.25%に据え置いています。

声明文では「世界的な不透明感とボラティリティの上昇による通貨安がインフレ見通しの上昇リスクにつながる」として利上げを決定しました。

## <トルコリラは一時上昇も再び下落>

市場予想を上回る大幅な利上げであったことから、トルコリラは発表後は対米ドルで上昇しました。しかし、政府が利下げを求めていることから追加利上げが難しいことや、欧州議会でトルコのEU加盟交渉凍結を求める議案が可決されたことから、再び下げに転じ、最安値を更新しています。

11月24日の海外終値は1米ドル=3.446トルコリラ、1トルコリラ=32.87円となっています。

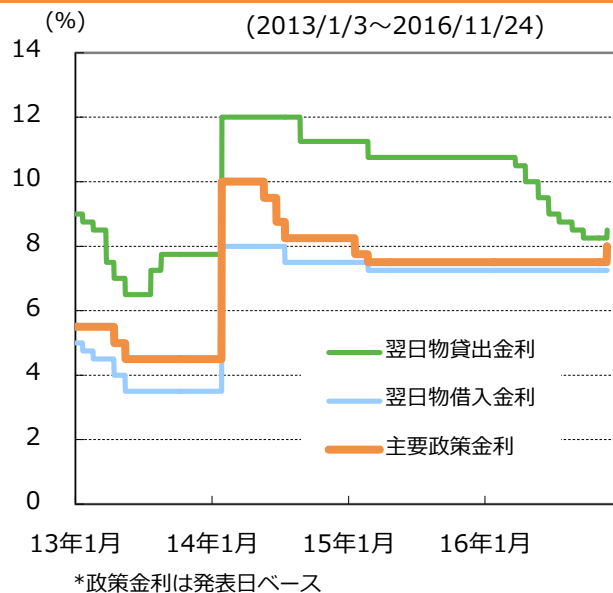
## <今後の見通し>

トルコリラはクーデター未遂事件以降、国内での政治的混乱など地政学リスクの高まりなどから下落傾向が続いていました。さらに米大統領選でトランプ氏が勝利し、米金利上昇から米ドル高が進行し、対米ドルでの最安値を更新しました。

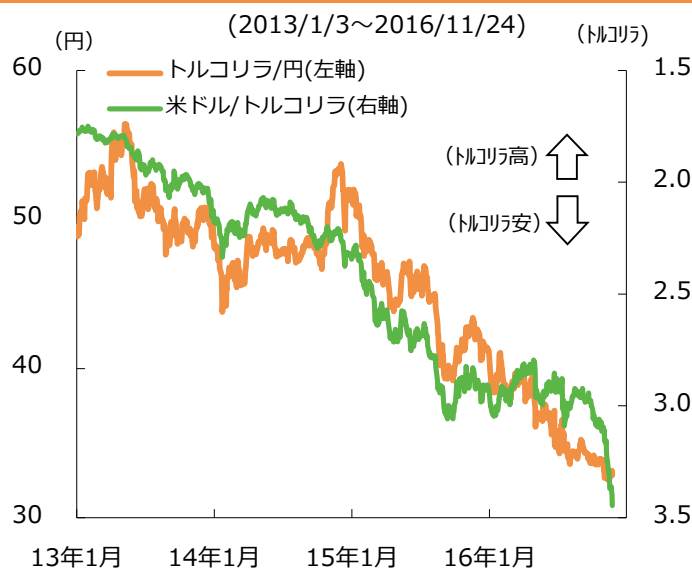
今回、予想を上回る利上げが実施されましたが、経済のテコ入れを求める政府からの利下げ要請が強まる中、追加利上げは難しいとの認識は依然払拭されていません。エルドアン大統領の強権政治に対する懸念も根強く残ります。

米利上げのスピードが速まるとの予想が強まっており、新興国からの資金流出が懸念されることから、トルコリラはしばらく不安定な状況が続くと予想されます。

## <トルコ政策金利等の推移>



## <トルコリラの推移>



出所：Bloomberg